

令和元年度定期監査報告書

浜中町監査委員 串 田 明

浜中町監査委員 成 田 良 雄

1 監査の範囲

平成31年4月1日から令和元年9月30日までに執行された財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理

2 監査の方法

上記「1 監査の範囲」について、関係法令等及び予算に基づき適切に執行されているかを主眼とし、経済性、効率性、有効性の観点にも留意しつつ関係書類による検査及び関係職員からの聞き取りにより実施した。

3 監査の期間

令和元年11月13日から令和元年11月29日まで（8日間）

4 監査の結果

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理については、概ね適正に執行されているものと認める。

町長部局、各委員会部局、
議会議務局等各係の監査内容（報告）

1 総務課

総務課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。
各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 総務係

庁舎の維持管理ほか、文書の收受及び発送、許可指令 2 件、認可指令 1 件、補助指令 107 件（前年対比 3 件減）、条例・規則・訓令の公布 50 件（前年対比 10 件減）、告示 34 件（前年対比 4 件増）、自動車臨時運行許可（ナンバー交付）14 件（前年対比 4 件増）を執行している。なお、令和元年 10 月 18 日付け人事異動により、本定期監査の期日である 9 月末日現在で作成された資料と監査実施日では係長が変更になっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 100,194 千円に対し、調定額・収入済額ともに 56,946 千円で調定対比 100.0%である。歳出は、予算現額 228,646 千円に対し、支出済額 52,633 千円、執行率 23.0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町村会負担金ほか 15 件 2,339 千円が支出済である。

(2) 職員係

職員の任免、賞罰、分限、服務、給与、福利厚生、健康管理、研修等の職員に関すること及び職員団体、職員住宅に関することを分掌しており、健康管理としては、メンタルヘルスの不調を未然に防止することを目的としたストレスチェックを対象者 264 人（実受検者 251 人）に対して行ったほか、健康診断 142 人、人間ドック 104 人の受診に関する管理を行っている。職員研修では、税務事務（基礎）徴収研修や防災・減災対策研修、統一的な基準による地方公会計制度研修、指導能力研修などの自己研鑽研修への職員派遣、町主催での新規採用職員研修や会計年度任用職員制度の説明会を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 5,217 千円に対し、調定額 4,963 千円、収入済額 2,697 千円で、調定対比 54.3%である。歳出は、予算現額 1,243,012 千円に対し、支出済額 595,002 千円、執行率 47.9%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、退職手当組合負担金ほか 3 件 55,001 千円が支出済である。

(3) 交通安全係

交通安全対策、防犯活動及び関係団体に関すること、町有車両の維持管理（35 台）、巡回バス・福祉バスに関すること、生活交通路線確保に関することを主な業務としており、今年度から係長 1 人が配置されている。

交通安全指導員（28 人）の出動状況は、うまいもん市や町民駅伝大会、岬まつり・ルパンフェスティバルなど前年度中止となったイベントが今年度は開催されたことに伴い、昨年同時期より 5 件増の 7 件であり、出動人員も延べ 91 人と昨年同時期より 60 人増となっている。また、平成 31 年 4 月 28 日に発生した交通死亡事故以降、町内の交通死亡事故ゼロ日数は本監査実施日の直近であった 10 月末現在で 186 日となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 1,100 千円に対し、調定額・収入済額ともに 453 千円、調定対比 100.0%。歳出は、予算現額 63,770 千円に対し、支出済額 22,137 千円、執行率 34.7%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町地域公共交通活性化協議会運営費補助ほか4件10,726千円が支出済である。

(4) 契約管財係

建設工事の契約及び検査、公有財産の取得・管理処分、備品の管理や公の集会施設維持管理に関する業務、公営住宅の建設計画、維持管理など財産関係の業務を主としており、詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額95,390千円、調定額65,613千円、収入済額28,994千円、調定対比44.2%となっており、歳出は、予算現額243,513千円に対し、支出済額67,477千円、執行率27.7%である。

●町有財産の状況

○土地	総面積	39,988,971 m ²	(うち山林面積 28,588,910 m ² 、立木推定量 302,958 m ³)
○建物	総面積	111,091 m ²	(うち木造 18,734 m ² 、非木造 92,357 m ²)
○有価証券(株券)	2件	2,000千円	
○出資金・出捐金	21件	88,965千円	(うち出資金 11件 66,973千円、出捐金 10件 21,992千円)

●土地建物貸付関係

○土地(有償分)			
・宅地	71件	23,252.76 m ²	1,901千円
	(前年対比3件減)	(前年対比1,266.24 m ² 減)	(前年対比39千円減)
・干場	70件	82,218.34 m ²	1,285千円
	(前年対比2件増)	(前年対比73.21 m ² 減)	(前年対比5千円減)
・その他	90件	150,917.57 m ²	3,327千円
	(前年対比2件増)	(前年対比693.72 m ² 減)	(前年対比55千円増)
計	231件	256,388.67 m ²	6,513千円
	(前年対比1件増)	(前年対比2,033.17 m ² 減)	(前年対比11千円増)
○土地(無償貸付分)			
	125件	219,429.91 m ²	
	(前年対比2件増)	(前年対比12 m ² 増)	
○牧野			
	5件	298,502.00 m ²	184千円
	(増減なし)	(増減なし)	(増減なし)
○建物			
	37件	36棟	2,703千円
	(前年対比8件増)	(前年対比7件増)	(前年対比327千円増)

●土地借用関係

40件	214,529.73 m ²	借地料 1,370千円
(うち無償 18件)	165,978.29 m ²	(増減なし)

●財産の取得

○建 物 改築 1 件 1, 009. 00 m² 取得金額 938, 895 千円
(前年対比 938, 895 千円増)

●財産の処分

○土 地 売却 1 件 1, 046. 15 m² 処分額 1, 539 千円
(前年対比 1, 539 千円増)

○土 石 岩 石 30, 000. 00 m³ 処分額 6, 480 千円
(前年対比 2, 061 千円増)

●職員住宅関係

木造住宅・ブロック造・軽量気泡コンクリートパネル造
14 棟 45 戸

●公有物件共済加入状況

職員住宅ほか（共済責任額 8, 538, 482 千円） 分担金 2, 877 千円

●町有施設保守管理委託状況

一般会計分として、消防用設備点検等（43 施設）3, 456 千円、浄化槽保守点検（14 施設）820 千円、自家用電気工作物保安管理（16 施設）3, 268 千円、暖房設備保守点検（15 施設）1, 618 千円、地下タンク及び地下配管点検（10 施設）249 千円、排水再利用装置保守管理（4 施設）2, 009 千円、昇降設備保守点検（2 施設）1, 491 千円、煙道中の排ガス測定（4 施設）292 千円。これに浜中診療所特別会計分 4 件（消防用設備点検等、自家用電気工作物保安管理、暖房設備保守点検、地下タンク及び地下配管点検）457 千円を合わせた合計 112 施設 13, 660 千円分の業務について委託契約を締結している。

●町営住宅管理状況

町営住宅は、団地数 14 団地、棟数 52 棟、保有戸数 253 戸。入居は 180 戸で 73 戸が空家となっており、このうち 50 戸は政策空家である。現在、霧多布 G 団地及び暮帰別 B 団地については長寿命化工事に向けて入居抑制を行っているため、政策空家が前年より 13 戸増となっている。

町営住宅使用料の高額滞納に係る徴収等については、他の入居者との公平性を維持する視点からも政策的改善方法が必要である。多重債務者への対応は、収納対策委員会や関係各課で情報共有を図り、今後も一層の債権回収に努められたい。また、引き続き町営住宅管理マニュアル（チェックマニュアル）等のルールに則った町営住宅の管理を期待するものである。

●公の集会施設利用状況

公の集会施設（26 施設）は、のべ 999 回 17, 966 人に利用され、前年対比で利用回数 22 回、利用人数 2, 998 人の減となっている。

なお、9 月末現在の各種工事などの契約状況は次のとおりである。

工事区分	件 数	契約金額	対 比
土木工事関係	16 件（前年対比 3 件減）	406, 323 千円	（前年対比 1, 013, 996 千円減）
建築工事関係	9 件（ " 4 件減）	876, 837 千円	（ " 344, 017 千円減）
委託事業関係	11 件（増 減 な し）	123, 832 千円	（ " 75, 777 千円増）
合 計	36 件（前年対比 7 件減）	1, 406, 992 千円	（前年対比 1, 282, 236 千円減）
物品購入関係	8 件（前年対比 1 件減）	95, 430 千円	（前年対比 69, 871 千円増）

(5) 情報管理係

OA化の推進、電子計算機に係る総合調整及びデータ管理・保守、行政情報システムの調査、研究及び行政情報の利用の促進、情報公開、個人情報保護に関することを分掌している。

今年度、情報公開・個人情報保護審査委員5名を委嘱。管轄下のOA機器の管理・更新等を担当し、健康管理システムの導入を行ったほか、eラーニングによるマイナンバー制度に携わる職員を対象とした研修(受講者30人)の実施やOSのサポート期限到来に伴うサーバOS更改及び端末更新も実施している。

予算執行状況は、歳入予算現額0円に対し、調定額・収入済額ともに2千円、調定対比100.0%である。歳出は、予算現額54,591千円に対し、支出済額27,104千円、執行率49.6%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、道自治体情報システム協議会負担金ほか3件23,911千円が支出済である。

(6) 庁舎建設準備係

令和2年11月25日竣工、令和3年1月6日から新庁舎使用開始という計画のもと、役場庁舎建設に関する業務に係長1人、主事1人で執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額353,009千円に対し、調定額・収入済額ともに0円、調定対比0.0%となっており、歳出は、予算現額1,889,946千円に対し、支出済額745,861千円、執行率39.5%である。

2 選挙管理委員会

事務局

関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、事務の執行について監査した。

本年度は、道知事道議会議員選挙及び参議院議員通常選挙、町長選挙、町議会議員選挙に関する事務を執行しているが、町長選挙及び町議会議員再選挙は令和元年10月1日告示であるため、本定期監査の期日である令和元年9月末現在の状況には反映されていない。

予算執行状況は、歳入予算現額15,091千円に対し、調定額・収入済額ともに6,006千円で、予算対比39.8%、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額32,538千円に対し、支出済額15,582千円、執行率47.9%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路町村選挙管理委員会連合会負担金ほか2件49千円が支出済である。

3 防災対策室

防災係

関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、事務の執行について監査した。

防災計画及び防災対策、緊急災害の統括、防災無線、水防計画、国民保護計画及び国民保護対策、消防に関すること、その他防災に関することを主な業務としており、今年度より事務分掌に「空家等対策に関すること」が追加されている。

本年度の津波防災避難訓練についても例年同様5月24日に実施し、593人が参加している。参加者は前年対比47人増、参加率は前年対比2.1%増の18.5%と増加傾向が見受けられるが、依然として参加率が低い状況には変わりなく、次年度は5月24日が日曜日の休日にあたるため、休日ならではの訓練となるよう、さらなる内容の工夫・改善が必要と思われる。

また、監査実施日現在、本町においては前年の北海道胆振東部地震のような地震や停電、台風による被害は発生していないが、各種災害に関する町民への情報提供や防災意識の高揚を図る対策は継続して求められるものである。

なお、「浜中町空家等対策計画」が策定され、1件につき上限500千円で8件分の不良空家除却に対する補助4,000千円が今年度当初から予算化されている。

予算執行状況は、歳入予算現額5,105千円に対し、調定額・収入済額ともに1,605千円、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額294,012千円に対し、支出済額143,116千円、執行率48.7%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路東部消防組合浜中消防署負担金ほか1件134,600千円が支出済である。

4 浜中支所

住 民 係

関係諸帳簿、現金の保管及び取り扱いについて提出資料に基づき説明を求め、監査した。

戸籍・住民基本台帳、印鑑証明その他諸証明、埋火葬許可、町税及び税外金の収納、国民健康保険及び年金事務などに関することが主な業務で、主査1人が配置されており茶内支所住民係の主査1人、主事1人が兼務発令され業務を遂行している。現金の取り扱いに係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳出予算現額1,210千円に対し、支出済額445千円、執行率36.8%である。

○現金取扱状況	有料（納付書数）	無料（納付書数）	引継金額
税 金	462 件		5,438 千円
証明手数料	367 件	16 件	157 千円
介護保険料	16 件		153 千円
後期高齢者医療保険料	24 件		187 千円
収入証紙	17 件		103 千円
水道・住宅料ほか	328 件		1,847 千円
合 計	1,214 件	16 件	7,885 千円
	(前年対比 25 件減)	(前年対比 2 件減)	(前年対比 1,727 千円減)

5 茶内支所

住 民 係

関係諸帳簿、現金の保管及び取り扱いについて提出資料に基づき説明を求め、監査した。

戸籍・住民基本台帳、印鑑証明その他諸証明、埋火葬許可、町税及び税外金の収納、国民健康保険及び年金事務などに関することが主な業務であり、主査1人、主事1人のほか浜中支所住民係の主査1人が兼務発令され業務を遂行している。現金の取り扱いに係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 647 千円に対し、調定額 240 千円、収入済額 181 千円で、調定対比 75.4%となっており、歳出は、予算現額 48,117 千円に対し、支出済額 1,256 千円、執行率 2.6%である。

○現金取扱状況	有料（納付書数）	無料（納付書数）	引継金額
税 金	770 件		15,025 千円
証明手数料	1,149 件	161 件	499 千円
介護保険料	37 件		252 千円
後期高齢者医療保険料	63 件		1,014 千円
斎場使用料	8 件		120 千円
コミュニティセンター使用料	11 件		436 千円
収入証紙	41 件		1,582 千円
水道・住宅料ほか	915 件		4,629 千円
合 計	2,994 件 (前年対比 223 件減)	161 件 (前年対比 10 件減)	23,557 千円 (前年対比 2,094 千円減)

6 町 民 課

町民課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 町 民 係

戸籍・住民基本台帳、印鑑証明その他諸証明、埋火葬許可、犯罪人名簿、旅券事務、外国人住民に関することに加え、人口動態、電子署名に係る地方公共団体の認証業務、個人番号の指定・通知、個人番号カードの交付等に関する業務を遂行している。

令和元年9月末現在の住民基本台帳登録人口と世帯数では、人口 5,789 人（男 2,866 人・女 2,923 人）、世帯数 2,487 世帯となっており、前年対比で人口は 94 人減（男 36 人減、女 58 人減）、世帯数は 22 世帯の増となっている。

戸籍事務については、本庁で業務を一括して行い、各支所は証明書の交付のみを行っている。

各種証明の取扱いは、全町で 5,240 件（うち無料分 890 件。前年対比 83 件増）、2,021 千円（前

年対比増減なし)である。

予算執行状況は、歳入予算現額 5,735 千円に対し、調定額・収入済額ともに 1,685 千円、調定対比 100.0%。歳出は、予算現額 11,294 千円に対し、支出済額 3,038 千円、執行率 26.9%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、戸籍事務共同運用負担金ほか 2 件 2,634 千円が支出済である。

(2) 保険年金係

国民健康保険、後期高齢者医療、重度心身障がい者及びひとり親家庭等の医療費、子ども医療費、国民年金に関する業務を執行している。

医療費の一部を助成することにより保健の向上に資するとともに、福祉の増進を図ることを目的とした各種医療費給付事業の対象者数は、重度心身障がい者医療給付事業 90 人(障 37 人、障老 53 人。前年対比 6 人増。)、ひとり親家庭等医療給付事業 154 人(前年対比 6 人増)、子ども医療給付事業 771 人(前年対比 34 人減)、浜中町精神障がい者医療費助成事業 13 人(前年対比 2 人減)の合計 1,028 人(前年対比 25 人減)となっており、必要に応じ、随時助成を行っている。

国民年金については、年金給付、資格得喪、免除申請等の各種申請の進達、日本年金機構釧路年金事務所等からの調査依頼への回答や定期的に福祉年金、障害年金に係る所得調査等を行っている。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額 51,816 千円に対し、調定額・収入済額ともに 1,245 千円、調定対比 100.0%であり、歳出は、予算現額 169,417 千円に対し、支出済額 60,836 千円、執行率 35.9%となっている。

後期高齢者医療制度は、75 歳以上と 65 歳から 74 歳で一定の障がいの状態のある者が対象であり、後期高齢者医療保険被保険者数は 890 人(うち 75 歳未満 31 人。全体数の前年対比 23 人減)である。

後期高齢者医療特別会計の歳入歳出予算総額は 74,703 千円で、歳入では、調定額 55,075 千円、収入済額 26,258 千円で調定対比 47.7%。歳出の支出済額は 26,298 千円で執行率 35.2%となっており、主な支出済額は、負担金、補助及び交付金の後期高齢者広域連合保険料負担金等で 25,931 千円となっている。

国民健康保険に関しては、令和元年 9 月末現在で被保険者 1,085 世帯(前年対比 7 世帯減) 2,436 人(前年対比 94 人減)が加入している。

前年度の国民健康保険制度の改正により、財政運営の責任は北海道が担い、保険証の発行や療養費等の申請、国保税の課税・徴収事務、保険事業は従来どおり浜中町が行うこととなった。保険給付に必要な費用は北海道が負担するが、その財源として市町村が北海道に対し、「国保事業費納付金」を納める方式となり、北海道は各市町村の医療費や所得等を基準に納付金の額を決定し、市町村はその納付金の額に応じた国保税を課税することとなっている。浜中町においては前年所得をもとに、前年度の繰越金の一部を減税財源に充てるなど税率改正を行っている。

国民健康保険特別会計の歳入歳出予算総額は 1,121,712 千円で、歳入予算の割合は、国民健康保険税 30.23%、道支出金 65.73%、その他収入で 4.04%となっており、歳出は、保険給付費 63.41%、国民健康保険事業費納付金 34.27%、保険事業費 1.40%、その他支出で 0.92%となっている。

予算執行状況は、歳入は、調定額 673,960 千円、収入済額 426,634 千円で調定対比 63.3%。歳出では、支出済額 479,274 千円で、執行率 42.7%となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道国民健康保険団体連合会負担金 540 千円が支出済である。

(3) 生活環境係

公衆衛生、廃棄物の処理及び清掃、墓地及び斎場、畜犬取締り及び野犬掃とう、公害、衛生諸施設の管理運営に関することを主な業務としている。9月末で臨時職員1人が退職したため、本監査実施日現在は係長1人、主事1人で業務を遂行している。

4月～9月末現在までの収入証紙売捌状況及び衛生センターの稼働状況、ごみ処理の状況に係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額44,122千円に対し、調定額19,754千円、収入済額17,887千円、調定対比90.5%となっており、歳出は、予算現額260,682千円に対し、支出済額80,373千円、執行率30.8%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、資源物リサイクル活動奨励交付金ほか3件2,851千円が支出済である。

●収入証紙売捌・衛生センター稼働・ごみ処理の状況（4月～9月末）

○収入証紙売捌状況

93,059枚、7,423千円（前年対比9,044枚増、743千円増）

○衛生センター稼働状況

し尿処理量 961.9kℓ（前年対比6.9kℓ減）

浄化槽汚泥等処理量 465.5kℓ（前年対比29.7kℓ増）

○ごみ処理状況

可燃・不燃等・直接搬入・収集ごみ 757.78t（前年対比83.29t減）

資源物 295.55t（前年対比13.54t増）

7 企画財政課

企画財政課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 企画調整係

「第5期浜中町新しいまちづくり総合計画」の最終年である今年度は「第6期浜中町まちづくり総合計画」の策定に向けてまちづくり委員会から提言書の提出を受け、第5期総合計画の点検・評価を行いながら、管理職で構成する策定委員会により基本構想、基本計画の原案を取りまとめ、今後基本構想については策定審議会への諮問を行うこととなっている。また、「浜中町人口ビジョン」「浜中町創生総合戦略」についても今年度までの計画期間であることから、効果を検証し、改訂作業を進めている。

辺地計画と過疎計画については、財政上の特例措置を受けるべく、辺地指定と過疎指定を受け、除雪機械や農道の整備等に財源の有効活用を図るよう努めている。

令和2年度における町の重点施策実現のため、関係上級官庁や団体等に対して北海道釧路総合振興局や釧路地方総合開発促進期成会を通じて要望活動を実施しているほか、高速道路や高規格道路の整備事業の早期実現に向け、釧路開発建設部、北海道横断自動車道釧路地区早期建設促進期成会、

北海道横断自動車道釧路・根室間建設促進期成会等と連携を図り、要望活動に参加している。

地域の住民活動団体が、自ら行う地域活性化事業などに対して補助を行う「地域振興補助」事業は、9月末現在で3事業1,154千円の補助決定を行っている。

人づくり事業については、人づくり推進会議委員を14人委嘱のうえ6事業を採択しており、本事業を活用した浜中・沖縄少年少女体験交流事業や霧多布高等学校の環境・産業視察研修など他の自治体や団体との交流を通じ、本町の自然や産業の良さを改めて認識する地域間交流事業への支援も行っている。また、移住・定住の推進のため、5月から地域おこし協力隊1人を「移住・定住推進員」として任命しているほか、改修整備したお試し住宅は9月末までに4組の利用があり、10月以降についても予約が入っている状況である。

国際交流に関することとしては、今年度も人づくり基金を活用し、霧多布高等学校の海外交流派遣事業を支援したほか、外務省の事業で北海道主催の「世界津波の日高校生サミット in 北海道」のスタディツアーを受入れ、世界27ヵ国139人の高校生と霧多布高校の生徒が文化交流や本町の津波の歴史や対策を学ぶ機会を提供した。

コミュニティ活動の支援事業として、自治会連合会・単位自治会等と連携し、環境美化運動の推進や花いっぱい運動、新生活運動の推進を継続して行っている。加えて「コミュニティ助成事業」の取りまとめを行い、地域活動の活性化を図っており、今年度は前年度申請したものの配分枠から漏れていた熊牛連合会への助成が決定し、調理機器や音響設備を整備している。

今年度の各種統計調査は、5月に学校基本調査、6月に工業統計調査が実施されている。(本定期監査期日以降では10月に経済センサス基礎調査を実施、2月に農林業センサスを実施予定。)

予算執行状況は、歳入予算現額14,029千円に対し、調定額・収入済額ともに636千円、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額22,528千円に対し、支出済額8,302千円、執行率36.9%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、一般コミュニティ事業助成金ほか10件4,047千円が支出済である。

(2) 広 報 係

行政一般の周知、広報紙の発行、町ホームページ、町史編さん、広聴に関することなどを分掌しており、まちづくりの基本方針や計画、経過、結果等を広報し、行政としての説明責任を果たすとともに、町民との情報の共有化を図り、各種行事の周知や情報を広報誌やホームページによって広く町内外へ発信している。

広聴に関しては、ホームページを使った電子メールや町民との直接対話により、町民からの要望、意見、提言、情報の把握に努め、各課との調整による対応を行っている。

なお、平成27年度に発刊した新町史は、今年度、9月末までに町外価格の6千円で2件販売している。

予算執行状況は、歳入予算現額10千円に対し、調定額・収入済額ともに12千円で、調定対比100.0%となっており、歳出は予算現額4,270千円に対し、支出済額2,367千円で、執行率55.4%である。

(3) 財 政 係

予算の編成及び経理、支出命令、地方交付税、町債に関すること等を主な業務としている。

本年度の起債予算計上額は21件3,011,000千円であり、この内、臨時財政対策債117,338千円が

含まれている。30年度との比較では、3件減で予算計上額は1,143,597千円増となっており、役場庁舎建設事業に関連する緊防債の1,363,388千円増加、町立保育所建設事業の完了に伴う起債額929,478千円が減少していることが主な要因と考えられる。

普通地方交付税は交付決定額2,952,443千円に対し、9月末までに2,924,468千円を予算化し、2,206,285千円が収入済となっている。

なお、令和元年度に関しては、財政力指数3ヵ年平均21.5%（単年度22.1%）、実質公債費比率10.7%、将来負担比率66.7%、経常収支比率83.5%、地方債借入年度末残高10,054,877千円を見込んでいる。

8 福祉保健課

福祉保健課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。
各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 福祉係

災害救助、児童・ひとり親家庭・心身障がい者、生活保護、児童手当、高齢者福祉及び高齢者相談、在宅福祉サービス、放課後児童クラブ、地域生活支援事業ほか、主に社会福祉に関することを分掌しており、係長1人、主査1人、主事1人で業務を遂行している。

15歳到達後最初の年度末までが対象となる児童手当は、6月支給分児童数が延べ2,452人（前年対比253人減）、支払額25,120千円（前年対比3,310千円減）である。生活保護の状況は、老人23世帯（26人）、母子3世帯（8人）、傷病16世帯（28人）、障害6世帯（6人）、施設入所5世帯（5人）、その他1世帯（1人）で、合計54世帯（被保護人数74人）、前年対比4世帯減（被保護人数3人減）である。放課後児童クラブでは、児童63人（霧多布30人、茶内33人。前年対比霧多布5人増、茶内4人増。）に対して7人（前年対比1人増）の指導員を配置している。9月末までの身体障害者手帳の交付状況は、新規交付11件、再交付1件、等級変更2件、住所変更1件、返還7件であり、手帳保有者は298人（うち重度障がい者数118人）前年対比2人増となっている。

町単独の敬老週間事業では、例年8月末日現在で対象者を選定し、満88歳の方36人（男15人、女21人）に3万円、満99歳の方2人（男1人、女1人）に5万円の敬老祝い金を9月末日までの間に贈呈している。

日常生活用具貸付事業では、日常生活用具（ベッド19台、マット19枚、車椅子8台、エアーマット1枚）の貸付、緊急通報装置の設置（貸付）31台を行っており、高齢者バス利用助成事業では今年度より釧路や厚岸への通院の利便性向上を図るためJR券を選択肢に加えており、申請のあった661人（バス券273人、JR券68人、ゆうゆう券320人）に対して交付している。

なお、今年度は火災、海難、風水害に対する災害見舞金・弔慰金の支出は発生していない。

また、自立支援ホームヘルプサービス事業（登録者23人）、外出支援サービス事業（登録者87人）については、浜中町社会福祉協議会に委託のうえ、登録者へ各サービスの提供を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額208,114千円に対し、調定額91,231千円、収入済額85,174千円、調定対比93.4%となっており、歳出は、予算現額435,102千円に対し、支出済額219,996千円、執行率50.6%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、デイサービス事業運営費補助ほか 19 件 58,880 千円が支出済である。

(2) 健康推進係

町民の健康増進、母子保健及び成人保健、歯科指導及び栄養指導、妊娠届の受理及び母子手帳の交付、感染症その他疾病の予防に関すること、診療所に関することを分掌している。今年度保健師 1 人が採用となり、係長（歯科衛生士）1 人、保健師として主査 2 人、主任 1 人、新規採用 1 人の 4 人、管理栄養士の主事 1 人、一般事務職の主事 1 人、臨時職員 1 人の合計 8 人で各種事業や事務を執行している。

成人対策では特定健康診査や各種がん健診などを実施しており、特定健康診査、子宮がん検診、乳がん検診については該当者にクーポン券を交付し、受診勧奨を行っている。母子対策では乳幼児の各種健診や相談事業に加え、産前産後サポート専門相談及び産前産後ケアを助産院マタニティアイに委託のうえ実施し、専門相談利用実績 13 件（前年対比 13 件増）、産前ケア利用が 5 人（前年対比 5 人増）、産後ケアはデイケア型を延べ 2 回、宿泊型を延べ 1 回、1 人（前年対比利用人数と宿泊型は同数。デイケア型は 2 回増。）が利用しており、いずれも実績の伸びがみられている。その他感染症対策として予防接種事業の実施やエキノコックス症対策、広域救急医療対策としてティーペック株式会社委託の 24 時間電話相談可能な「浜中町健康・医療相談ダイヤル 24」事業、栄養対策、歯科対策など、広く町民の健康維持・増進などに関わる保健事業等を実施している。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額 5,414 千円に対し、調定額・収入済額ともに 1,511 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 72,705 千円に対し、支出済額 38,665 千円、執行率 53.2%である。

また、国民健康保険特別会計のうち健康推進係に関する予算執行状況は、歳入予算現額 2,851 千円に対し、調定額・収入済額ともに 334 千円で調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 6,371 千円に対し、支出済額 3,708 千円、執行率 58.2%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、厚岸郡広域救急医療体制負担金ほか 7 件 19,026 千円が支出済である。

(3) 介護保険係

介護保険に関すること、ケアマネジメントセンターに関することを分掌している。

介護保険の申請状況は、新規・更新を合わせ第 1 号被保険者が 133 人、第 2 号被保険者（40 歳～64 歳）が 2 人の合計 135 人（前年対比 17 人減）である。

介護度別人数は、要支援 1（13 人）、要支援 2（25 人）、要介護 1（62 人）、要介護 2（53 人）、要介護 3（35 人）、要介護 4（35 人）、要介護 5（39 人）の合計 262 人となっており、そのうち施設入所または居宅サービスの利用人数は 217 人（前年対比 11 人減）である。

9 月末現在の介護保険料の収入状況は、調定額 100,002 千円に対し、収入済額 52,486 千円で、収納率は 52.5%となっており、前年対比 7.1%の増である。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額 5,835 千円に対し、調定額・収入済額ともに 1,575 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 69,027 千円に対し、支出済額 534 千円、執行率 0.8%である。

介護保険特別会計の歳入歳出予算総額は 470,378 千円で、歳入予算現額 470,378 千円に対し、調

定額 264,467 千円、収入済額 216,399 千円で調定対比 81.8%。歳出は、予算現額 440,535 千円に対し、支出済額 161,762 千円で執行率 36.7%となっている。(歳入歳出の予算現額は、地域包括支援係への配当分を除いた額で記載。)

補助金、負担金及び交付金の状況は、国民健康保険保険者ネットワーク負担金 28 千円が支出済である。

(4) 地域包括支援係

地域包括支援センターに関すること、介護予防・日常生活総合事業に関する業務に係長 1 人、主査 1 人、嘱託職員 1 人、再任用の業務支援員 1 人の 4 人で執行している。

介護予防・生活支援サービス事業では、介護予防訪問介護をしゃきょう介護センターえぞふうろ、介護予防通所介護をデイサービスセンターハイツ野いちごに委託のうえ実施しており、要支援者配食サービスは地域生活支援センター・ハート釧路及び町社会福祉協議会と委託契約を結び、9 月末までに要支援に認定されている 7 人(延べ 25 人)に対し 233 回の配食を実施している。(介護認定を受けていない高齢者等については「包括的支援事業」により配食サービスを 9 人(延べ 34 人)に対し 436 回実施している。)加えて、介護予防事業として健康教室やハツラツ倶楽部わっはっは、ほのぼのくらぶなどを実施しているほか、今年度より地域からの要望に応える形で月 1 回のふまねつと教室を姉別農村環境改善センターで実施している。また、地域包括支援センター事業として、福祉保健課及び関係機関(社会福祉協議会、診療所、野いちご、訪問看護ステーションなど)の担当者によるケア会議を隔週で開催しているほか、総合相談として、延べ 374 件(電話 96 件、来所 25 件、訪問 226 件)の介護保険に関することや自立支援サービスに関すること、医療との連携や状況・安否確認、福祉用具の購入や備品の貸出しに関する本人や家族、関係機関や民生委員等からの相談に対応している。

介護保険特別会計のうち包括支援係に関する予算執行状況は、歳入予算現額 7 千円に対し、調定額・収入済額ともに 3 千円で調定対比 100.0%。歳出は、予算現額 29,850 千円に対し、支出済額 16,562 千円、執行率 55.3%となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道在宅介護支援センター負担金 30 千円が支出済である。

9 町立浜中診療所

総務係・医事係

町立浜中診療所各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

令和元年 10 月 18 日付け人事異動により、本定期監査の期日である 9 月末日現在で作成された資料と監査実施日では診療所事務長が変更になっている。

浜中診療所特別会計における歳入歳出予算総額は 263,411 千円で、歳入予算の構成割合は、診療収入 37.5%、使用料及び手数料 3.9%、繰入金 52.7%、諸収入 0.3%、町債 5.6%となっており、昨年同期同様に診療収入の伸びは見られるが、依然として一般会計からの繰入金等(繰入金と町債で歳入全体の 58.3%を占めている。前年対比 2.8%減。)が多く、経営上厳しい状況であることに変わりはない。歳出の予算構成割合では、総務費 87.0%(総務費の構成割合は、浜中診療所維持管理に要

する経費 8.4%、浜中診療所運営に要する経費 91.6%。)、医業費 10.1% (医業費の構成割合は、医業に要する経費 83.1%、入院患者等寝具に要する経費 3.9%、入院患者等給食に要する経費 13.0%)、公債費 2.9%となっており、歳出予算のうち大きな割合を占めるのは、医師報酬、職員給料及び職員手当、共済費、医師・臨時職員雇上賃金で 72.8%となっている。

経営状況は、9月末現在の医業収益で前年対比患者数 653 人、金額で 3,184 千円の減が認められる。前年度は茶内診療所の休止などに伴う大幅な患者増があったところではあるが、前々年度と比較すると患者数は 731 人、金額では 2,573 千円の増であることから、着実に浜中診療所を利用する町民が増加しているものと考えられる。しかしながら、人件費等に係る支出額の大きさは変わらない状況であるため、引き続き経営改善策の検討や抜本的経営体制の見直しが必要と思われる。

予算執行状況は、歳入では、調定額 49,846 千円に対し、収入済額 49,333 千円、調定対比 99.0%となっており、歳出は、支出済額 114,397 千円で、執行率 43.4%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路市医師会費ほか 4 件 142 千円が支出済である。

10 税 務 課

課 税 係・収 納 係

税務課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

本年度の町税収納率は、9月末現在で普通税の調定額 794,311 千円に対し、収入済額 474,943 千円で 59.8%、国保税は調定額 362,512 千円に対し、収入済額 117,777 千円で 32.5%の収納率となっており、前年対比では、普通税収納率 0.9%、国保税収納率 0.5%増となっている。

なお、町民の利便性向上及び収納強化のため、町道民税・軽自動車税・固定資産税・国保税、各種税外金はコンビニ・郵便局で納付可能な体制を整備、実施しており、収納対策として有用な効果を発揮するよう今後も町民への周知を行うとともに、納付意識の向上に期待するものである。

また、町税等の納付に対する町民の公平性と信頼を確保するため、町独自の収納が困難な滞納事案を抽出のうえ「釧路・根室広域地方税滞納整理機構」に引継ぎ、滞納の解消に努めており、各種税外金についても所管している部署との連携を図り、収納対策委員会の開催や随時指導を行いながら収納業務に尽力している。

予算執行状況は、国有資産等所在市町村交付金及び納付金、道支出金の総務費委託金で歳入予算現額 9,256 千円に対し、調定額・収入済額ともに 4,911 千円で、調定対比 100.0%である。歳出は、税務総務費、賦課徴収費で予算現額 14,865 千円に対し、支出済額 5,081 千円、執行率 34.2%となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路・根室広域地方税滞納整理機構負担金ほか 2 件 556 千円が支出済である。

11 出 納 室

出 納 係

現金の収入保管、支払及びその記録等については例月出納検査により立証されているため、その他の事務について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 1,746 千円、支出済額 471 千円で、執行率は 27.0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、今年度より指定金融機関である大地みらい信用金庫に対し、派出窓口業務負担金として 1,080 千円が予算化されており、270 千円が支出済である。

12 建 設 課

建設課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 土 木 係

道路橋梁の維持管理、河川に関する事、都市計画や地籍に関する事など、主に土木に関する事全般にわたる業務を行っている。

道路及び河川の占用許可数は、道路 67 件（前年対比 9 件増）、河川 32 件（前年対比 32 件減。許可した 32 件の内訳は土地 22 件、工作物 10 件）となっている。

工事執行状況は、土木工事など 8 件（前年対比 2 件増）で請負金額 65,654 千円（前年対比 1,578 千円増）、調査設計等委託業務 7 件（前年同数）、請負金額 85,220 千円（前年対比 28,788 千円増）となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 48,498 千円に対し、調定額・収入済額ともに 1,781 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 233,707 千円に対し、支出済額 28,453 千円、執行率 12.2%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、道土木積算システム連絡協議会負担金ほか 2 件 296 千円が支出済である。

(2) 建 築 係

建築基準法、建築指導、建設リサイクル、建築物の設計及び施工管理などのほか、屋外広告物や融資住宅に関する事務を担当している。

本年度は、建築確認申請 2 件（前年対比 5 件減）、建設リサイクル法に係る通知 37 件（前年対比 15 件増）を 9 月末までに受理・受付している。

工事等の執行状況は、建築工事、水洗化工事など 9 件（前年対比 1 件減）で請負金額 855,128 千円（前年対比 310,408 千円減）、調査設計等委託業務 6 件（前年対比 4 件増）で請負金額 69,300 千円（前年対比 51,772 千円増）となっている。

安心住まいの促進事業は、9 月末現在 25 件（前年対比 8 件増）の申請があり、この事業に伴う金券発行額は 2,319 千円（前年対比 426 千円増）となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 2,174 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0.0%

となっており、歳出は、予算現額 7,945 千円に対し、支出済額 1,027 千円、執行率 12.9%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、既存住宅耐震改修費補助金（予算現額 600 千円）を予算化しているが、9月末現在申込者はない状況であるため、予算執行されていない。

（3）下水道係

主に下水道及び集落排水事業に関する業務を執行している。

今年度より係長 1 人が配置され、建設課長による係長事務取扱が終了し、係長 1 人、主事 1 人で業務を遂行している。

本年度の工事等の執行状況は、公共下水道工事 3 件（前年対比 2 件増）で請負金額 38,944 千円（前年対比 17,668 千円増）、農業集落排水工事 2 件（前年対比 1 件増）で請負金額 826 千円（前年対比 92 千円減）、調査設計等委託業務 3 件（前年対比増減なし）で請負金額 11,620 千円（前年対比 1,760 千円増）となっている。

下水道事業特別会計の歳入歳出予算総額は 388,239 千円で、歳入は、調定額 36,762 千円、収入済額 31,300 千円、調定対比 85.1%。歳出は、支出済額 151,882 千円、執行率 39.1%となっている。

なお、歳出において、一般会計から下水道事業特別会計への繰出金として 269,750 千円が予算化されているが、9月末現在での繰出しは行われていない。

補助金、負担金及び交付金の状況は、道自治体情報システム協議会負担金ほか 9 件 1,103 千円が支出済である。

13 商工観光課

商工観光課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

（1）観 光 係

観光の振興、自然公園の保全と利用、湿原センターの管理運営委託、霧多布湿原学術研究支援制度に関することを主な業務としている。

観光客誘致宣伝として、観光広告の掲載ほか、北海道観光振興機構、釧路観光連盟、くしろ圏観光キャンペーン促進協議会、釧路町・厚岸町・浜中町で形成される三町広域観光推進協議会、釧路町村会地域づくり広域プロジェクト事業へ参加・協力しており、各種観光パンフレットや資料などの配布を行っている。

地域活性化を目指すルパン三世関連事業の展開では、プロジェクト会議によりルパン三世フェスティバルの開催やラッピングバス運行事業、ホームページの更新等を実施している。前年度は胆振東部地震の発生により、物流等に影響があったためルパン三世フェスティバルのステージイベントは中止となったが、今年度は9月15日にスペシャルステージを開催し4,000人の来場者があったほか、8月31日から9月29日までの期間（9月15日を除く。）のモンキー・パンチ・コレクション来場者は3,000人となっている。

なお、前年度中止となった2019浜中うまいもん市は7月7日に琵琶瀬湿原特設会場にて開催され、2,500人の来場があり、岬まつりは9月15日にルパン三世フェスティバルと同日開催している。

また、琵琶瀬展望台、霧多布岬展望台にて観光客の入り込み調査も行っているが、調査の結果については集計中のため観光客数等は不明である。

キャンプ場の利用状況では、有料であるバンガロー利用が1,100人、546棟（前年対比267人、120棟増）、休憩舎利用は56人、7件（前年対比45人、1件減）となっており、無料のテント利用は1,327張1,690人（前年対比154張、188人増）である。

なお、本年度は霧多布湿原学術研究支援制度による助成支援に7件の申請があり、有識者等による審査会の結果、新規で3件を助成対象として決定し、750千円を交付している。（交付の内訳は275千円2人、200千円1人。）

予算執行状況は、歳入予算現額752千円に対し、調定額・収入済額ともに1,068千円で、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額66,710千円に対し、支出済額53,078千円、執行率79.6%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、霧多布湿原センター管理運営負担金ほか15件44,021千円が支出済である。

（2）商工労働係

商工業の振興、商工団体、地場産品等の振興、中小企業、企業誘致、消費生活、計量器、労働事業の調査及び相談教育、労働者の福祉・共済に関することなどを分掌している。

令和元年10月18日付け人事異動により、本定期監査の期日である9月末日現在で作成された資料と監査実施日では商工労働係長が商工観光課長の係長事務取扱に変更となっている。

商工業者の振興に資する商工機器等購入資金貸付事業では、10月開催の購入資金貸付委員会後に2件8,996千円（前年対比1件924千円減）の貸付を行うこととなっており、地場産品等の振興を目的として9月26日から29日までの4日間、さっぽろオータムフェスト2019「札幌大通ふるさと市場」に参加し、本町の商品宣伝を図っている。

中小企業者を対象とした特別融資制度を設け、原資40,000千円を大地みらい信用金庫に預託し、4月から9月末までに8件39,000千円の融資を行っている。

労働業務としては、労働者の福祉・共済に向けた出稼手帳の交付（新規9件、証明8件）、技能尊重運動及び事業内職業訓練等に関する業務を実施している。

また、商工業者の担い手確保に向けて平成29年度から開始している商工業後継者就業交付金事業による支援対象者は、9月末現在申請がない状況である。

予算執行状況は、歳入予算現額45,462千円に対し、調定額・収入済額ともに0円、調定対比0.0%。歳出は、予算現額83,666千円に対し、支出済額66,405千円、執行率79.4%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町商工会補助ほか9件25,797千円が支出済である。

（3）ふれあい交流・保養センター係

主にセンターの管理運営、利用拡大に関すること、センターに付随する風力発電に関することを分掌しており、**前年度同様**、商工観光課長の係長事務取扱のもと主事1人が事務を執行している。

町民の保養と健康づくりを通じて交流を図るとともに、災害時における避難施設としての活用を図ることを目的とした施設であり、令和元年度は9月末現在で入浴者45,628人（前年対比16,775人増。営業日数183日、1日平均249.3人）が利用している。

なお、ふれあい交流・保養センターの管理運営等に関しては、霧多布温泉「ゆうゆ」プロジェク

ト(代表 株式会社クロエ)に平成30年10月から令和5年3月まで指定管理委託が決定している。

風力発電については、今年度は当初より故障のため作動しておらず、本定期監査の期日である9月末現在で発電実績なし。監査実施日現在の状況として10月下旬に風車の解体及び撤去を行ったことを確認した。

予算執行状況は、歳入予算現額15,731千円に対し、調定額・収入済額ともに16千円、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額101,592千円に対し、支出済額29,425千円、執行率29.0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、ふれあい交流・保養センター管理運営負担金ほか4件16,418千円が支出済である。

(4) 中山間活性化施設係

施設の管理運営、利用拡大に関することを分掌しており、臨時職員2人、パート職員2人が常勤し、係長は商工労働係長が兼ねている。

中山間活性化施設(Mo-TToかぜて)は、農・漁業の生産物に付加価値を付けるための研究や開発を目的とした施設であり、町内の多くの女性団体や個人の利用のほか、青少年の農産物加工体験、各種講習会を開催している。9月末現在の利用者並びに来館者は延べ3,365人(前年対比193人増)となっており、施設内の利用のほか敷地内のパドックを利用した乗馬体験やキャンプ場の活用を通じ、地域と都市の交流を図っている。

予算執行状況は、歳入予算現額582千円に対し、調定額・収入済額ともに322千円で、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額14,351千円に対し、支出済額4,404千円、執行率30.7%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路地方食品衛生協会負担金ほか1件11千円が支出済である。

14 水 道 課

水道課は、水道事業会計については出納室同様、支払及びその記録等が例月出納検査により立証されているため、一般会計部分で水道係所管の関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

水 道 係

予算執行状況は、歳入予算現額85,270千円に対し、調定額43,488千円、収入済額42,500千円、調定対比97.7%となっており、歳出は、予算現額73,742千円に対し、支出済額33,249千円、執行率45.1%である。

○使用料納入状況	調 定 額	収入済額	収 入 率
農業用水	39,911千円	39,557千円	99.1%

15 議会事務局

議事係・庶務係

議会事務局各係について、提出資料に基づき説明を求め、関係書類の整理及び事務執行について監査した。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 56,206 千円に対し、支出済額 27,302 千円、執行率 48.6% となっており、主な支出は、議会議員に要する経費の報酬・手当 17,396 千円、共済費 7,330 千円、旅費 1,012 千円である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、管内町村議会議長会負担金 404 千円が支出済である。

16 監査委員事務局

監査係

関係書類の整理及び事務執行、提出資料について監査した。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 2,210 千円に対し、支出済額 1,099 千円、執行率は 49.7% となっており、主な支出は監査委員報酬の 827 千円である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路町村等監査委員協議会負担金ほか 1 件 52 千円が支出済である。

17 水産課

水産課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 港湾係

港湾に関すること全般、国土交通省港湾局所管に係る海岸保全に関することを業務としている。

港湾施設の利用状況は、港湾施設用地使用料 10 件 674 千円（前年対比 1 件 28 千円増）、物揚場・岸壁使用料 84 件 152 千円（前年対比 133 件 11 千円減）、漁船捲揚施設使用料 44 件 1,929 千円（前年対比件数増減なし、131 千円増）、船揚場使用料 0 件 0 円（前年対比 49 件減、金額増減なし）となっており、合計は 138 件 2,755 千円（前年対比 181 件減、147 千円増）である。

本年度は霧多布港整備事業計画により、事業費 75,220 千円、町負担 14,990 千円で港湾施設用地（琵琶瀬湾）及び航路、防波堤（北）の整備を行い、霧多布港海岸における津波対策事業として、社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）を活用し、霧多布港海岸防潮堤嵩上改良工事ほかを事業費合計 687,112 千円で発注している。

予算執行状況は、歳入予算現額 52,693 千円に対し、調定額 3,657 千円、収入済額 2,756 千円、調定対比 75.4% となっており、歳出は、予算現額 133,447 千円に対し、支出済額 6,429 千円、執行率

4.8%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道港湾協会負担金ほか1件158千円が支出済である。

(2) 漁政係

水産業関係団体、漁業制度資金、漁業の担い手確保、沿岸漁業の振興、水産物の流通加工及び衛生管理、船員法、漁港整備計画及び利用、海岸保全に関することのほか津波防災ステーションの管理運営に関することも分掌している。

漁業機器等購入資金貸付事業では、浜中・散布の2漁協関係分を合わせ5件4,890千円（前年対比2件2,620千円減）の貸付を行い、その償還状況は、歳入予算現額12,450千円に対し、年度末までに入金予定のため、9月末現在では調定額・収入済額ともに0円、調定対比0.0%となっている。

また、漁業の担い手確保に向け、漁業後継者就業交付金事業による支援対象者として新規承認者4人を含む21人を承認している。（今年度は道立漁業研修所総合研修受講補助は申請者がいないため実施していない。）

なお、海岸保全に関することとして、高潮・津波・浸食等による町民の生命・財産を守るため、今年度は霧多布地区建設海岸（水取場）の防潮堤（堤防L=357.7m）の嵩上げを実施しているほか、漁港整備計画及び利用に関することとして、水産基盤整備計画に基づき火散布漁港関連施設の整備や火散布漁港、琵琶瀬漁港の改修を行っているほか、町単独事業として奔幌戸海岸道路拡幅補修及び散布漁港丸山地区航路浚渫を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額24,416千円に対し、調定額・収入済額ともに5千円、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額52,212千円に対し、支出済額25,561千円、執行率49.0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、漁業近代化資金利子補給ほか14件3,033千円支出済である。

●登録漁船数、陸揚量、陸揚金額の状況等（港勢調査の概要（平成29年分）より）

対象漁港：散布、琵琶瀬、榊町、浜中（奔幌戸）、浜中（貫人） 5漁港

登録漁船数 631隻 陸揚量 7,241t 陸揚金額 2,299,802千円

（前年対比4隻増） （前年対比420t増） （前年対比467,017千円増）

●漁業近代化資金利子補給承認状況

（単位：千円）

	浜中漁業協同組合		散布漁業協同組合		北海道信漁連		合計	
	件数	承認額	件数	承認額	件数	承認額	件数	承認額
1号資金	6	10,260	-	-	-	-	6	10,260
2号資金	-	-	-	-	-	-	-	-
3号資金	-	-	-	-	-	-	-	-
4号資金	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	6	10,260	0	0	0	0	6	10,260
前年対比	△7	△18,710	△7	△16,140	-	-	△14	△34,850

(3) 水産振興係

水産業に係る環境保全、栽培漁業、沿岸漁場の整備開発、水産業に係る試験研究の調整、漁業技術の改良普及、水産資源の管理に関することを業務としており、前年度に引き続き水産課長の係長事務取扱のもと主任1人、主事1人で事務を執行している。

本年度は、平成29年度より引き続き5ヵ年計画の新川船揚場整備事業で左側上部コンクリートL=27.8m、鋼矢板打設L=12.6m、既設構造撤去20.0mの整備改修工事を行うほか琵琶瀬瀬戸及び新川航路の航路掘削工事を行うこととしている。栽培漁業であるウニの種苗確保、安定供給に向けた種苗生産センターの建設に向け、関係機関との協議を進めており、今年度は建設に向けた整備予定地の測量調査、水質調査及び実施設計を行うこととなっている。また、浜中・散布漁協が実施するマツカワ種苗購入事業に対して水産振興基金を財源に補助を行い、散布漁協のチカ増殖事業に対しシエロブラシ200本などを支援しているほか、近年大雨被害を受けている散布養殖施設については町水産振興連絡協議会・養殖部会・散布漁協で塩分計を購入し、降雨による火散布沼への塩分濃度の影響について調査を行い、大阪府立大学等と共同で今後の対策を検討することとしている。なお、海域の塩分、海水温の経年変化について調査を行うため塩分計を購入し、栽培漁業における基礎データの取得についても開始しており、令和2年3月には水産物付加価値向上を目的に、ブランド化や販売促進活動への支援として札幌市（ポールスター札幌）での物産展を開催予定である。

予算執行状況は、歳入予算現額19,487千円に対し、調定額300千円、収入済額0円で、調定対比0.0%。歳出は、予算現額98,445千円に対し、支出済額7,684千円、執行率7.8%となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路昆布普及協議会負担金ほか6件691千円支出済である。

18 保 育 所

保育業務係

関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、事務の執行について監査した。

常設の霧多布保育所（定員140人）及び茶内保育所（定員80人）は、定員220人に対して140人（前年対比11人増）の幼児が入所している。霧多布保育所は58人（5歳児15人、4歳児7人、3歳児18人、2歳児7人、1歳児7人、0歳児4人）の幼児に対し、保育士11人（前年対比2人増）、管理栄養士1人、調理員2人の体制であり、茶内保育所は82人（5歳児17人、4歳児18人、3歳児16人、2歳児14人、1歳児10人、0歳児7人）の幼児に対し、保育士12人（前年対比2人増）、調理員2人で対応している。

このほか、子育て支援センターでは4月8日から9月30日までの期間で延べ310人の利用に対して保育士2人が対応しており、一時預かり保育では4月8日～9月30日までの期間で延べ79人に対し保育士1名が対応し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに努めている。

なお、両保育所とも避難訓練（火災、地震、不審者）を毎月1回ずつ実施しているほか、運動会やバス遠足など年次計画に基づき各行事を行っている。

へき地保育所の運営については、散布・浜中・姉別の3ヵ所を開設し、幼児数43人（前年対比増減なし）に対して保育士7人（前年対比増減なし）で保育にあたっている。

予算執行状況は、歳入予算現額43,078千円に対し、調定額18,992千円、収入済額11,010千円、

調定対比 58.0%となっており、歳出は、予算現額 193,814 千円に対し、支出済額 131,137 千円、執行率 67.7%である。今年度歳入予算の大幅な減の要因は、茶内保育所の地中熱利用に係る国庫補助金 170,000 千円の減と考えられる。また、歳出の主な支出済額は、茶内保育所改築工事に係る工事請負費の 90,661 千円である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、管内保育連合会負担金ほか 2 件 97 千円が支出済である。

19 農業委員会

農政係・農地係

農業委員会各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

予算執行状況は、歳入予算現額 9,785 千円に対し、調定額 1,428 千円、収入済額 1,426 千円、調定対比 99.9%となっており、歳出は予算現額 13,505 千円に対し、支出済額 5,169 千円、執行率 38.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道農業会議拠出負担金ほか 1 件 273 千円支出済である。

●農地法許可関係

農地法第 3 条	(売買)	0 件	0 m ²	(前年 :	3 件	144,828.29 m ²)
〃	(贈与)	0 件	0 m ²	(前年 :	1 件	74,830 m ²)
〃	(賃貸借)	6 件	677,492.04 m ²	(前年 :	12 件	2,099,540.04 m ²)
〃	(使用貸借)	2 件	1,856,599 m ²	(前年 :	6 件	2,870,458 m ²)
農地法第 4 条	(農地転用)	3 件	23,425 m ²	(前年 :	5 件	22,648 m ²)
農地法第 5 条	(農地転用)	2 件	8,629 m ²	(前年 :	1 件	5,426 m ²)

●農地保有合理化事業 (売渡) 1 件 233,825 m² (前年 : 1 件 63,793 m²)

●農地中間管理事業 0 件 0 m² (前年 : 0 件 0 m²)

●農業経営基盤強化促進事業

農地利用集積円滑化事業(買入)	2 件	1,279,104 m ²	(前年 :	3 件	1,280,442 m ²)	
〃	(売渡)	3 件	386,607.25 m ²	(前年 :	2 件	306,004 m ²)
〃	(賃貸借)	7 件	1,034,138 m ²	(前年 :	3 件	833,284 m ²)
利用権設定等促進事業(賃貸借)	6 件	1,107,155 m ²	(前年 :	9 件	2,125,983 m ²)	
〃	(利用権移転)	0 件	0 m ²	(前年 :	3 件	406,808.25 m ²)
〃	(所有権移転)	1 件	41,723 m ²	(前年 :	0 件	0 m ²)

●利用集積計画公告件数

公告内容	件数	面積
所有権移転	7件	1,941,259.25 m ²
賃貸借設定	13件	2,141,293 m ²
利用権移転	0件	0 m ²

●土地の現況証明願件数

14筆 82,404 m²

(内訳：所有権移転8筆、地目変更4筆、農家住宅建設1筆、農業用施設増設1筆)

●農業者年金申請等の状況

裁定請求(新制度) 9件(内訳：老齢年金8件、特例付加年金1件)

〃(旧制度) 5件(内訳：老齢年金4件、経営移譲年金1件)

未支給年金請求 4件

その他届出 11件(内訳：資格喪失、住所・加入区分変更ほか)

●農地所有適確法人数

17法人(前年対比2法人増)

20 農 林 課

農林課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 林 務 係

主に、町有林、民有林の経営指導、治山事業、鳥獣保護、自然保護、有害鳥獣の駆除に関する事などについて、前年度に引き続き農林課長の係長事務取扱のもと主任2人で事務を執行している。

町有林整備事業では、人工造林、下刈、複層林下刈について、予算額20,489千円のところで、9月末日までに各事業合計15,208千円で契約の上実施している。

予算執行状況は、歳入予算現額88,955千円に対し、調定額・収入済額ともに9,677千円、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額105,050千円に対し、支出済額32,977千円、執行率31.4%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町鳥獣被害防止対策協議会負担金ほか5件1,313千円が支出済である。

(2) 農業振興係

農業の振興、農業基盤整備、農業農村整備に関することを分掌しており、農業の振興として中山間地域等直接支払交付金事業などに係る事務を執行している。

なお、今年度より係長1人が配置され、農林課長による係長事務取扱が終了し、係長1人、主任1人の2人で業務を遂行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 468,760 千円に対し、調定額・収入済額ともに 7,493 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 571,627 千円に対し、支出済額 11,974 千円、執行率 2.1%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、農地・水保全多面的機能支払交付金ほか 3 件 11,207 千円が支出済である。

(3) 農 政 係

農村生産団体、農業担い手、産業振興資金（家畜購入）、農業制度資金、家畜伝染病予防に関することなどを主な業務としている。今年度より係長 1 人が配置され、農林課長による係長事務取扱が終了し、係長 1 人、主事 1 人、農業振興係と兼務発令の主任 1 人の 3 人で業務を遂行している。

家畜購入資金貸付事業は、予算現額 12,000 千円に対して 1 件 5,000 千円の申請があり、新規貸付を行っており、本件に係る償還は令和 3 年度から令和 6 年度までの 4 ヶ年となっている。また、9 月末現在におけるこれまでの貸付金の償還状況は、調定額 5,730 千円に対し、償還済額 0 円、償還率 0.0%となっている。

なお、農業の担い手確保に向けた農業後継者就業交付金事業による支援対象者は、新規 2 人を加えた 8 人分を予算化している。

予算執行状況は、歳入予算現額 17,474 千円に対し、調定額 5,930 千円、収入済額 200 千円、調定対比 3.4%となっており、歳出は、予算現額 80,990 千円に対し、支出済額 16,450 千円、執行率 20.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、（有）浜中町就農者研修牧場負担金ほか 7 件 10,525 千円が支出済である。

21 教育委員会

教育委員会各課・係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 管 理 課

① 総 務 係

総務係は、主に教育委員会に関すること、事務局及びその他教育機関の職員の任免ほか人事、学校の設置・廃止、奨学資金、学校施設及び教職員住宅の管理、学校施設の使用許可などについて分掌し、業務を遂行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 9,679 千円に対し、調定額 6,367 千円、収入済額 2,910 千円、調定対比 45.7%となっており、歳出は、予算現額 169,419 千円に対し、支出済額 41,997 千円、執行率 24.8%で、主な支出済額は、学校配当ほか需用費 16,086 千円、臨時雇上賃金ほか賃金 10,214 千円などである。（平成 30 年度末に茶内第一小学校が閉校したことに伴い、前年度歳入に計上していた国庫補助金（防音事業関連維持事業補助）は、対象校がなくなったため予算計上されていない。）

補助金、負担金及び交付金の状況は、管内教育委員会連絡協議会負担金ほか 2 件 625 千円が支出済である。

●奨学金給付状況

大学生・短大生	9人（前年対比 1人増）	月額 11,000円（前年同額）
専門学校生	3人（前年対比 1人減）	月額 11,000円（ 〃 ）
高校生	15人（前年対比 7人減）	月額 5,500円（ 〃 ）
合 計	27人	年額 2,574千円（前年対比 7人、462千円減）

●教員住宅使用状況 小・中学校合計 71戸（うち老朽戸数 20戸） 調定額 6,067千円

② 学校教育係・指導室

学校教育係は教職員の人事、児童生徒の就学及び転入出、教職員・児童生徒の保健衛生福利及び厚生、通学区域、スクールバスの運行・管理及び委託、就学援助に関する事務を執行している。

指導室は、学校教育に関する専門的事項の指導事務及び教職員の研修についての業務を遂行している。

なお、9月末日現在の児童生徒数は下表のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 242千円に対し、調定額・収入済額ともに 0円、調定対比 0.0%となっており、歳出は、予算現額 136,480千円に対し、支出済額 51,778千円、執行率 37.9%で、主な支出済額は、学校用バス運行委託料ほか委託料 26,939千円、町教育研究所負担金ほか負担金補助及び交付金 5,765千円などである。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町教育研究所負担金ほか 14件 5,765千円が支出済である。

●町内各学校の状況

学校名		児童数	生徒数	学級数	教員数	備 考
小学校	霧多布	90人		9	15人	
	浜 中	31人		5	11人	定数外職員1人
	茶 内	113人		9	17人	定数外職員1人
小 中併置校	散 布	23人	20人	9	18人	
中学校	霧多布		56人	4	12人	
	浜 中		25人	5	13人	
	茶 内		58人	6	14人	
合 計		257人	159人	47	100人	

●要保護及び準要保護児童生徒の状況

小学校	要保護 4人、準要保護 45人（前年対比 要保護 1人増、準要保護 1人減）
中学校	要保護 2人、準要保護 38人（前年対比 要保護増減なし、準要保護12人増）
合 計	要保護 6人、準要保護 83人（前年対比 要保護 1人増、準要保護11人増）

(2) 生涯学習課・総合文化センター

① 社会教育係・総合文化センター係

社会教育係は、主に生涯学習の推進や社会教育に関することを分掌し、芸術文化の振興、文化財

の保存・活用に関すること、青少年教育や成人教育（女性、高齢者、家庭教育を含む。）に関する事務を執行しており、総合文化センター係は、芸術・文化活動の練習、発表の場及びレクリエーション等の利用、図書の貸出し等の事業、郷土資料等の活用及び保存に関する業務を執行している。今年度社会教育主事の有資格者1人が新規採用となり、係長1人、主任1人、主事1人が2つの係を兼務している。（総合文化センター係については、図書館司書の有資格者1人を臨時職員として雇用している。）

予算執行状況は、歳入予算現額 285 千円に対し、調定額 157 千円、収入済額 119 千円、調定対比 75.8%。歳出は、予算現額 35,746 千円に対し、支出済額 13,539 千円、執行率 37.9%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町少年少女国内派遣事業負担金ほか 12 件 2,136 千円が支出済である。

●総合文化センター利用状況

利用件数 388 件、利用者数 22,051 人（前年対比 2 件 13,174 人増）

※ 前年度胆振東部地震の影響により中止となった岬まつり・ルパンフェスティバルが今年度開催されたことや、モンキー・パンチこと加藤和彦氏のご逝去を悼むための記帳台を設置したことによる利用者の増加と考えられる。

●総合文化センター図書貸出

利用者数 950 人（夜間 79 人） 前年対比 31 人減（夜間 22 人増）

貸出冊数 2,854 冊（夜間 265 冊） 前年対比 569 冊減（夜間 51 冊増）

※ 毎週火曜日と木曜日の夜間開放（17：00～21：00）を継続している。

② スポーツ係

社会体育施設に関すること、体育（スポーツ及びレクリエーション含む。）の普及ほか、体育振興及び指導に関する事務を執行しており、町内の関係団体と連携し、町民水泳大会や小学生対象の水泳教室や陸上教室、野球教室の開催等に関する事務も執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 487 千円に対し、調定額 349 千円、収入済額 340 千円、調定対比 97.4%となっており、歳出は、予算現額 200,847 千円に対し、支出済額 160,474 千円、執行率 79.9%である。主な支出済額は、町民温水プール改修工事と農業者トレーニングセンターの地下タンク撤去工事に係る工事請負費 144,344 千円となっている。

なお、各体育施設等の利用状況の詳細については下記の「各施設利用状況」のとおりとなっているが、下記表中の「町民温水プール」については改修工事の実施により、例年5月に開館しているところが今年度は9月からの開館となっているため、開館日数及び利用者数が大幅に減少している。また、平成30年度末の茶内第一小学校の閉校に伴い、学校開放の実施校数も前年度より1校分が減となっている

補助金、負担金及び交付金の状況は、町スポーツ振興補助ほか 8 件 3,179 千円が支出済となっており、9月末現在ではスポーツ振興補助として小学校2校（霧多布、茶内）、中学校4校（霧多布、散布、浜中、茶内）と霧多布高等学校から陸上、剣道、ソフトテニス、駅伝、サッカーの各種大会出場に伴って延べ18件の申請があり、1,265千円を支出している。

●各施設利用状況

社会体育施設等名称		開館・開放 日数	利用者総数 (団体・個人含む延べ数)	前年対比
屋 内	浜中町総合体育館	157日	7,076人	319人増
	農業者トレーニングセンター	149日	1,759人	341人減
	浜中町民温水プール	26日	1,361人	2,496人減
	すくらむ21	154日	801人	499人減
	(小計)	-	10,997人	3,759人減
屋 外	総合グラウンド	131日	650人	205人減
	霧多布スポーツ広場	131日	481人	398人減
	農村運動広場	125日	75人	97人減
	町民パークゴルフ場	146日	2,145人	526人増
	(小計)	-	3,351人	174人減
学 校 開 放 外	霧多布小学校	8日	54人	23人減
	霧多布中学校	3日	23人	61人減
	西円地域体育館	31日	457人	1人増
	茶内第一小学校	-	-	125人減
	(小計)	42日	534人	208人減
合 計		-	14,882人	4,141人減

(3) 霧多布高等学校

管 理 係

霧多布高等学校の教職員に関すること、学校施設（校舎・グラウンド・教員住宅）の管理、入学料等の収納、物品の調達及び管理、スクールバスの管理運行に関することなどを分掌し、事務を執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 14,177 千円に対し、調定額 12,620 千円、収入済額 1,863 千円、調定対比 14.8%となっており、歳出は、予算現額 54,158 千円に対し、支出済額 26,936 千円、執行率 49.7%である。主な支出は、学習支援員、管理人ほか賃金 6,835 千円、海外交流派遣負担金や遠距離通学補助ほか負担金補助及び交付金 5,182 千円となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、海外交流派遣負担金ほか 8 件 5,182 千円が支出済である。

(4) 学校給食センター

総務係・業務係

総務係では給食センターの管理運営、職員の衛生管理及び福利厚生、給食センターの防火・衛生管理などの事務を執行し、業務係は、給食物資の調達、給食の献立及び調理、供給配送など給食業

務に関することを分掌している。

センターの運営については、調理員 9 人を臨時雇用し、年間 195 日を基準として給食の供給を実施しており、9 月末現在の給食実施状況は、供給日数 98 日で 59,027 食となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 318 千円に対し、調定額・収入済額ともに 98 千円、調定対比 100.0% となっており、歳出は、予算現額 62,056 千円に対し、支出済額 26,040 千円、執行率 42.0% である。主な支出は、調理人賃金ほか賃金 9,686 千円、光熱水費や地場産食材提供費ほか需用費 9,571 千円、配送車運行委託ほか委託料 5,499 千円となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路管内学校給食研究協議会負担金ほか 1 件 20 千円が支出済である。